

▼公共施設に“緑のカーテン”を▼

ご意見



近頃“緑のカーテン”を試行する事例を聞きますが、市内では見たことがありません。

省エネルギーの観点からも、自然環境を守るという観点からも、市で率先して行ってもらえないでしょうか？



▲高千帆小学校に設置された“緑のカーテン”

【回答】環境課

ご承知の通り、緑のカーテンは窓から入り込む夏の日差しを遮ることを目的として、ゴーヤやアサガオ等のつる性の植物を茂らせるものです。

窓を覆うように茂らせるためには、苗や種のほかにもネットや支柱等の材料が必要となり、相応の予算が必要となりますが、緑のカーテンにより室内の温度を下げることは、冷房に係る電気代の節約、さらには地球温暖化防止にも寄与すると考えられます。

今年度は、市では保育園、図書館、小中学校等で設置しました。特に高千帆小学校の東教室棟では、長さ40m、高さ10mの規模で設置しています。7月初めにかけて植物が成長し、立派な緑のカーテンが完成しました。今後も、効果を検証しながら、緑のカーテン設置を進めていきます。

▼合併による中核都市づくりについて▼

ご意見



現在、都市計画の推進で宇部小野田湾岸道路を建設中ですが、一部開通し、渋滞も緩和して良いことだと思います。

今後も、都市計画を推進する上で、宇部市との合併を視野に入れて、中核都市を目指してもらいたいと感じました。



▲“活力ある住み良さ創造都市”を目指します

【回答】企画課

本市では、「人と出会い 支え合い 自然とふれあう 活力ある住み良さ創造都市」を基本に、子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる心豊かなまちを目指して行政を推進しています。

ご意見をいただいた合併についてですが、合併により、行財政基盤が強化されるとともに、行政サービスの向上と安定を図ることができると考えます。本市では、周辺の宇部市、美祢市との3市による広域圏としての地域の課題に対する一体的で総合的な解決と、地域全体の活性化を目指した取り組みを行っています。これからも、広域圏内の協調と連携を強化し、各地域の特性に応じた機能分担を図りながら、広域行政を推進していきたいと思えます。

中核都市づくりについては、美祢市を含む3市が合併しても、中核市の要件である人口30万人には少し足りない状況で、今後の課題とさせていただきます。